

# 千葉市未来の科学者育成プログラム・ジュニア講座（秋Ⅰ）

## 動物観察の基礎 ～視点を変えると動物の分類も変わる～

日時 9月30日（日）9：45～15：45  
場所 千葉市動物公園  
講師 鵜澤和生先生 森由民先生 中村彰宏先生（千葉市動物公園）  
指導補助協力員として小学校教諭  
受講対象学年 小学校5年生および6年生  
参加した受講生 27名



実習に使用した骨格標本

### 趣旨

科学に高い興味・関心をもつ小学校高学年児童に対し、その能力を伸ばすために質の高い学習プログラムを提供し、千葉市内の大学等研究機関や企業などと連携して、未来の科学者を目指す意欲を高める。

### 内容

- ・動物公園の園内を巡り、動物観察  
（当日の天気が雨の予報だったので、動物科学館で動物観察を行いました）
- ・サルのちょっといい話
- ・双眼鏡の使い方
- ・動物の仲間分け

### 今日の学習の目的をつかむ



「はじめの会」では、動物公園の先生方や指導協力員の小学校の先生方が自己紹介を行いました。

その後、今日学習する内容の紹介を行いました。残念ながら台風が近づいていて、雨が断続的に降るという予報だったので、予定していた動物公園全体を使っでの観察ではなく、動物科学館内の動物を観察することになりました。

野外でのたくさんの動物とのふれあいはなくなってしまいましたが、じっくりと一つ一つの動物と向き合う時間が取れるようになりました。



### 双眼鏡の使い方



一人一台双眼鏡が配付され、使い方を習いました。自分の目で見るよりも、細かい所まで見ることができ、この後の動物観察で活用しました。

### 動物観察その1

当日は市内の小学校から6名の先生方に指導補助協力員として、子どもたちの学習をサポートしていただきました。



## 動物科学館 2階小型サル舎にて観察



早速、双眼鏡を使用して動物のツメなどを細かく観察しました。

かわいい動物の姿に歓声があがりました。



グループごとに、マーモセットやタマリンを1種か2種選び、顔や手足、しっぽ等の共通点や差異点をじっくりと観察し、ワークシートに記入しました。

## 観察したことをもとに、発表会



## 動物観察その2



お昼ご飯のあとは、バードホールでトリの観察を行いました。双眼鏡でも観察しました。何種類見つけられたかな？

# サルのちょっといい話



ゴリラやチンパンジーなどの骨格標本を見たり、触ったりして、ヒトとの違いなどを感じたり、話し合ったりしました。



ペットボトルを使用して、サルとヒトのものの持ち方の違いを実感しました。

### 【受講生感想より】

・ゆっくり観察でき、いろいろな動物を見ることができてよかったです。これからも体の意外な動きを知ってみたいとなりました。手足の親指に少しおもしろい役目があったのを知って驚きました。

この他にも夜行性動物舎に行き、ショウガラゴの観察を行いました。周囲が暗いため、写真はありませんが、ショウガラゴのかわいさに心を奪われた様子が感想にたくさん書かれていました。

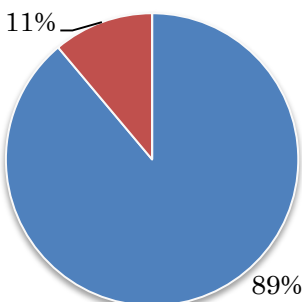
### ◆参加した児童の感想

- ・なぜチンパンジーが四足歩行でいつまでも歩けるのかがわかった。観察の方法を教えてもらい、いろいろなものを観察してみたいとなった。また次の機会にもこの講座に参加したい。
- ・とても細かく教えてくださったので、とてもわかりやすかったです。今まで観察の方法があまりわかっていなかったため、どのような視点で見ればいいのかなどとても勉強になりました。
- ・とてもおもしろかったです。顔の形や目の大きさなどを見ると、参加する前は「かわいいな」としか思わなかったのですが、今（参加後）はなぜこのような顔になったのだろうかなどという疑問が自然ともてるようになりました。
- ・普段行けない所に行ったり、動物のことを詳しく知ったりできたから、とても楽しかったし、これからもっと動物のことを知りたいと思った。
- ・知らない動物を詳しく観察することができ、動物にもっと興味をもつことができた。他の動物も観察をしたくなった。

### 受講後のアンケート結果から

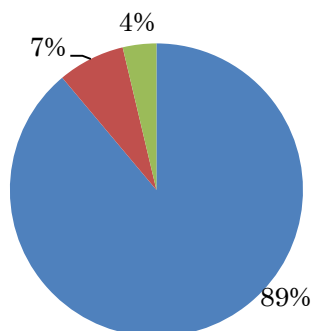
#### 楽しかった？

■ とても思う ■ 思う



#### また参加したい

■ とても思う ■ 思う ■ あまり思わない



#### 調べ方がわかった

■ とても思う ■ 思う

